

津島市における汚染井戸周辺地区調査結果について

津島市南新開町^{みなみしんがいちょう}の井戸^ひで砒素及びふっ素が環境基準を超過した件（2025 年 8 月 25 日公表）について、汚染井戸周辺地区調査を実施しました。

その結果、汚染は人為的なものではなく、地層・地質に由来するものと推定しました。

県は、汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

1 調査結果の概要

（１）砒素について

発端井戸は尾張西部地域の地層・地質に由来する砒素が地下水に溶出されやすいとされる範囲内に位置していること、また、発端井戸から半径約 500m の範囲内にある周辺事業場の調査を行ったところ、砒素の取扱履歴のある事業場は確認されなかったこと等から、汚染原因は人為的なものではなく、地層・地質に由来するものと推定しました。

（２）ふっ素について

発端井戸から半径約 500m の範囲内にある井戸を調査しましたが、井戸が無かったため、地下水の水質測定は実施していません。

また、同範囲内にある周辺事業場の調査を行ったところ、ふっ素の取扱履歴がある事業場は確認されなかったこと、発端井戸の地下水の水質特性が、尾張西部地域において地層・地質由来のふっ素が検出された地下水の水質特性と同様の傾向であったこと等から、汚染原因は人為的なものではなく、地層・地質に由来するものと推定しました。

2 周辺の井戸所有者に対する情報提供

津島市と連携し、井戸所有者等に対して飲用しないよう注意喚起を実施しました。

3 今後の対応

(1) 砒素について

尾張西部地域の地層・地質に由来する砒素が地下水に溶出されやすいとされる範囲内においては、代表する5地点で継続的なモニタリング調査を実施しており、今後も継続していきます。

(2) ふっ素について

汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

参考

○砒素による健康影響について

急性の中毒症状としては、めまい、頭痛、四肢の脱力、全身疼痛、麻痺、呼吸困難、角化や色素沈着などの皮膚への影響、下痢を伴う胃腸障害、腎障害、末梢神経障害が報告されており、砒素化合物の致死量は体重1kgあたり砒素として1.5～500mgと考えられています。

慢性の中毒症状としては、砒素に汚染された井戸水を飲んだことによって、皮膚の角質化や色素沈着、末梢性神経症、皮膚がん、末梢循環器不全などが報告されています。

○ふっ素による健康影響について

ふっ素を継続的に飲み水によって体内に取り込むと、0.9～1.2mg/Lの濃度で12～46%の人に軽度の斑状歯^{はんじょうし}が発生することが報告されており、最近のいくつかの研究では1.4mg/L以上で、骨へのふっ素沈着の発生率や骨折リスクが増加するとされています。

なお、厚生労働省では、過剰摂取による健康被害の防止の観点から、栄養補助食品として用いるふっ素の上限摂取量を1日4mg以下としています。

(出典：環境省水・大気環境局「土壤汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」)